

平成15年8月9日(土)
神戸新聞朝・夕
20頁 16人版

県立淡路景観園芸学校

園芸療法士 16人巣立つ

1期生修了式

土や植物に触れること
で心身の回復を促す「園
芸療法」の専門課程を設
けた県立淡路景観園芸学
校(津名郡北淡町)で八
日、一期生十六人の修了
式があった。県から同療
法士の認定を受けた学生
らは今後、病院や福祉施
設に就職する。

昨年九月、アメリカや
イギリスで成果を挙げて
いる園芸療法を国内でも

「園芸療法」の小さな種を
言葉で述べ、角帽を高く
まきます」などと誓いの
投げて卒業を祝った。



ガウンと角帽をつけ、修了式に臨む1期生ら—県立淡路
景観園芸学校

栽培でお年寄りの機能回復

園芸療法士1期生に16人

淡 北

植物栽培の癒やし効果を

お年寄りの機能回復などに
生かす「園芸療法士課程」
を全国の公立機関で初めて
導入した北淡町野島の県立
淡路景観園芸学校(熊谷洋
一校長)で八日、一期生の
修了式が行われた。写真。

修了生は十六人で、県から
園芸療法士に認定され、今
後、医療施設や造園、園芸の
民間企業などに就職する。
医療・福祉や園芸・造園
の業務経験者を対象として
昨年九月に開講。全国から



二十—五十八歳の幅広い
年齢層が集まり、寮生活で
一緒に暮らしてきた。
半年間、園芸や精神療法
などを同校で学び、その後

は同療法に取り組む全国十
か所の医療・福祉施設で実
地研修を積んだ。

式では、修了生一人ひと
りに修了証書と認定書が手
渡され、高尾善昭副校長が
「本校で学んだことを基礎
に強い信念と自信を持ち、
園芸療法の実践と普及に力
を尽くしてほしい」と熊谷
校長のあいさつを代読。各
修了生も壇上で誓いの言葉
を披露し、「園芸療法の小
さな種を地元で大きく育て
たい」「人と植物のかかわ
りを大事にする園芸療法士
になりたい」と誓った。
姫路市内の病院で園芸療
法士として働く予定の洲本
市栄町石塚幸子さん(28)は
「園芸療法も私もこれから
が第一歩。困難に負けず、
一步一步進んでいきたい」
と夢を膨らませた。

平成15年8月9日(土)
読売新聞朝・夕
25頁 淡路版